

MAKE THE  
WORLD SEE

# Milestone Systems

---

XProtect® DLNA Server 2022 R3

システム管理者マニュアル



## 目次

著作権、商標、および免責条項 .....	3
サポートされるVMS製品とバージョン .....	4
概要 .....	5
XProtect DLNA Server（説明付き） .....	5
XProtect DLNA Serverシステムフロー .....	5
ライセンス .....	7
DLNAライセンス .....	7
要件と注意事項 .....	8
XProtect DLNA Serverをインストールする前に .....	8
XProtect DLNA Serverの要件 .....	8
カメラ設定 .....	8
インストールされているもの .....	8
インストール .....	10
XProtect DLNA Serverをインストールする .....	10
標準的なインストール .....	10
カスタムインストール .....	11
設定 .....	12
XProtect DLNA Serverの設定 .....	12
DLNAサーバーの設定を構成する .....	12
チャンネルの追加 .....	12
XProtect DLNA Serverの管理 .....	13
XProtect DLNA Serverサービスのステータス .....	13
マネジメントサーバーのアドレスの変更 .....	14
ポート番号の編集 .....	14
操作 .....	16
DLNA認証デバイスを使用してビデオストリームを見る .....	16

## 著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2022 Milestone Systems A/S

### 商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

### 免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd\_party\_software\_terms\_and\_conditions.txtを参照してください。

## サポートされるVMS製品とバージョン

このマニュアルでは、次のXProtectVMS製品によりサポートされる機能が記載されています。

- XProtect Corporate
- XProtect Expert
- XProtect Professional+
- XProtect Express+
- XProtect Essential+

Milestoneは、上記のXProtect VMS製品の現行のバージョンと以前の2つのバージョンを使用して、本書に記載されている機能をテストします。

新しい機能が現在のリリースバージョンでのみサポートされており、以前のリリースバージョンではサポートされていない場合は、機能の説明にこれに関する情報が記載されています。

下記の廃止されたXProtectVMS製品でサポートされているXProtectクライアントとアドオンのドキュメントは、Milestoneダウンロードページ (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) に掲載されています。

- XProtect Enterprise
- XProtect Professional
- XProtect Express
- XProtect Essential

## 概要

### XProtect DLNA Server（説明付き）

DLNA（Digital Living Network Alliance）はマルチメディアデバイスの接続基準です。電子デバイスの製造者はさまざまなベンダーやデバイスの間で相互運用ができるように、そしてビデオのコンテンツを配信できるように、自社製品のDLNA認定を受けます。

一般表示やテレビの内容はDLNA認定を受けており、ネットワークに接続されています。メディアコンテンツのネットワークをスキャンしたり、デバイスに接続したり、メディアストリームが組み込みメディアプレーヤーにリクエストしたりできます。XProtect DLNA Serverは特定のDLNA認定デバイスで検出でき、選択されたカメラからメディアプレーヤー付きDLNA認定デバイスにライブでビデオストリームを配信できます。



DLNAデバイスには、1~10秒のライブビデオ遅延があります。これはデバイスのバッファサイズが異なることによって引き起こされます。

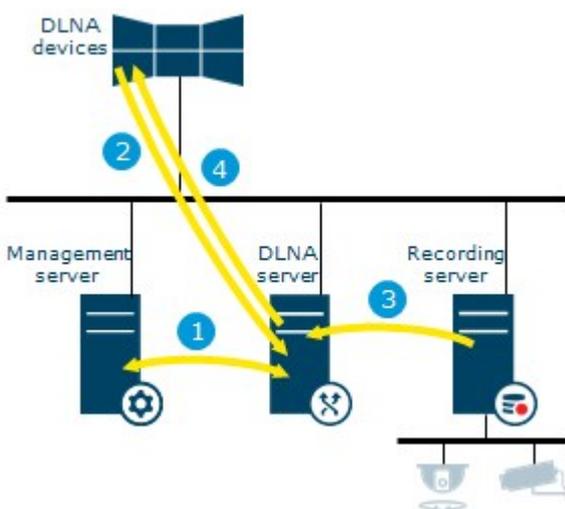
XProtect DLNA ServerはXProtectシステムと同じネットワークに接続されている必要があります。DLNAデバイスはXProtect DLNA Serverと同じネットワークに接続されている必要があります。

### XProtect DLNA Serverシステムフロー

XProtect DLNA Serverは次のコンポーネントで構成されています。

- XProtect DLNA Server
- XProtect DLNA Server 64ビットのManagement Client向け管理プラグイン

以下の図はDLNA デバイスとXProtectシステムのXProtect DLNA Serverの間での相互運用の大まかなビューを示しています。



1. XProtect DLNA Serverサービスを開始するとき、XProtect DLNA Serverはマネジメントサーバーに接続し、提供された資格情報により自分自身を承認します。承認の後、XProtect DLNA Serverが起動し、カメラからDLNAデバイスにH.264ビデオストリームを送信する用意をします。
2. DLNAデバイスはXProtect DLNA Serverを介してXProtectシステムに接続し、ライブカメラのビデオストリームを要求します。このためには、DLNAデバイスはXProtect DLNA ServerがインストールされたサーバーのIPアドレスか、ドメイン名（ドメイン/ホスト名）とDLNAポート番号が必要となります。これは、UPnPプロトコルで自動的に行われます。
3. XProtect DLNA Serverはレコーディングサーバーから要求されたカメラのビデオストリームを取得します。
4. XProtect DLNA ServerはHTTPストリーミングを介して、要求されたカメラからライブのビデオストリームをDLNAデバイスに送信します。



H.264エンコード済みカメラのストリームのみがサポートされています。カメラが複数のストリームをサポートする場合は、デフォルトのストリームだけが送信されます。

## ライセンス

### DLNAライセンス

XProtect DLNA Serverでは追加ライセンスは不要です。ソフトウェアは、マネジメントサーバーのシステム管理インストールWebサイトから、無料でダウンロードしてインストールできます。

## 要件と注意事項

### XProtect DLNA Serverをインストールする前に

XProtect DLNA Serverをインストールする際には、Management Clientのサーバーとプラグインをインストールします。これらのコンポーネントでDLNAチャンネルの追加が可能になり、ビデオをDLNAデバイスに提供できます。

複数のDLNAサーバーをXProtectシステムにインストール・追加できます。ただし、複数のDLNAデバイスは各DLNAサーバーに接続できるので、このことによりネットワークへの負荷が増え、パフォーマンスに影響する可能性があります。マネジメントサーバーを実行するコンピュータのネットワークリソースの使用量を全体的に減らすには、別のコンピュータ上にXProtect DLNA Serverをインストールします。



インストールにはEvent ServerサービスとManagement Clientの再起動が必要となります

Milestoneでは、実際のインストールを開始する前に、次のセクションに記載の準備を行うよう推奨しています。

### XProtect DLNA Serverの要件

XProtect DLNA Serverコンポーネントをインストールするコンピュータの要件は以下の通りです。

- XProtectシステムと同じネットワークに接続されている
- マネジメントサーバーへのアクセス
- Microsoft® .NET Framework 4.7以降がインストールされている

さまざまなVMSアプリケーションおよびシステムコンポーネントのシステム要件についての情報は、Milestoneウェブサイト (<https://www.milestonesys.com/systemrequirements/>) をご覧ください。

### カメラ設定

Management Clientにおける、推奨されるカメラ設定の検証

- 秒1当りのフレーム: **25** (またはそれ以上)。
- キーフレーム間のフレームの最大数: **25** (フレーム/秒と同じ値)。
- 解像度: **1920x1080**。
- ビットレート制御モード: **不変ビットレート**

### インストールされているもの

インストール中、つぎの構成要素がインストールされます。

- XProtect DLNA Server Admin Plug-in
- XProtect DLNA Serverには以下が含まれています。
  - XProtect DLNA Serverがインストールされたサーバーの通知領域からアクセスできる、実行中のXProtect DLNA Server Manager
  - XProtect DLNA Serverサービス

インストールでは以下も行われます。

- XProtect DLNA Serverサービスの登録および起動
- XProtect DLNA Server Managerを開始します。これはXProtect DLNA ServerがインストールされたサーバーのWindows通知領域にあります。



プラグインはManagement Clientの**サーバー**ノードで利用可能です。これは、**典型的な**インストール方法を使えば、自動的に起動します。**カスタム**インストール方法を使えば、インストールの後の段階でインストールできます。

# インストール

## XProtect DLNA Serverをインストールする

インストールWebページにアクセスするには：

1. XProtect DLNA Serverをインストールしたいコンピュータにログインして、インターネットブラウザを立ち上げます。
2. ブラウザに以下のURLを入力します：`http://[マネジメントサーバーのアドレス]/installation/admin`  
[マネジメントサーバーのアドレス]はマネジメントサーバーのIPアドレスまたはホスト名です。
3. **DLNA サーバーインストーラ**で**全ての言語** を選択します。
4. インストーラを適切な場所に保存するには、**保存**をクリックして、ここから実行するか、**実行**をクリックしてWebページから直接実行することができます。

インストーラを実行します：

1. 全ての警告を受け入れ、使用したい言語を選択します。**続行**をクリックします。
2. 使用許諾契約を読み、同意します。**続行**をクリックします。
3. インストールタイプを選択するには、下記の手順を行ってください。
  - 単一コンピュータシステムでは**標準**を選択します
  - 分散システムでは**カスタム**を選択します

### 標準的なインストール

1. 1つのコンピュータに全てのXProtect DLNA Serverコンポーネントをインストールし、デフォルトの設定を適用するには、**標準**を選択します。
  - **ネットワークサービス**、または**ユーザー名とパスワード**が割り当てられたドメインユーザーアカウントのいずれかとしてログインが正しいことを確認します
  - **続行**をクリックします。



後の段階でサービスアカウント資格情報を変更または編集するには、XProtect DLNA Serverの再インストールが必要になります。

2. URLまたはIPアドレス、およびプライマリマネジメントサーバーのポート番号を指定します。デフォルトのポートは80です。ポート番号を入力しなかった場合はポート80が使用されます。次に、**続行**をクリックします。

3. ファイルの場所と製品の言語を選択し、**インストール**をクリックします。

インストールが完了すると、インストールされたコンポーネントのリストが表示されます。**閉じる**をクリックします。

4. Event Serverサービスを再起動してから、Management Clientを再起動します。

## カスタムインストール

1. XProtectDLNAServer離れたコンピュータにコンポーネントをインストールするには、**カスタム**をクリックします。
2. サーバーをインストールするには、**XProtectDLNAServer**チェックボックスを選択し、**続行**をクリックします。
3. マネジメントサーバーとの接続を確立するためには、次を指定します。

- **ネットワークサービス**、または**ユーザー名とパスワード**が割り当てられたドメインユーザーアカウントのいずれかとしてログインが正しいことを確認します。次に、**続行**をクリックします



後の段階でサービスアカウント資格情報を変更または編集するには、XProtect DLNA Serverの再インストールが必要になります。

- URLまたはIPアドレス、プライマリマネジメントサーバーのポート番号、ならびにXProtect DLNA Serverとの通信に使用する接続ポートを指定します。
  - マネジメントサーバーのデフォルトのポートは80です。ポート番号を入力しなかった場合はポート80が使用されます
  - デフォルトのポート番号は、DLNAビデオは**9200**、DLNAデバイスは**9100**です

**続行**をクリックします。

4. ファイルの場所と製品の言語を選択し、**インストール**をクリックします。

インストールが完了したら、インストールに成功したコンポーネントのリストが表示されます。

5. **閉じる**をクリックしてから、XProtect DLNA ServerプラグインをManagement Clientがインストールされているコンピュータにインストールします。プラグインをインストールには、インストーラを再度コンピュータで実行し、**カスタム**を選択してからプラグインを選んでください。
6. Event Serverサービスを再起動してから、Management Clientを再起動します。

## 設定

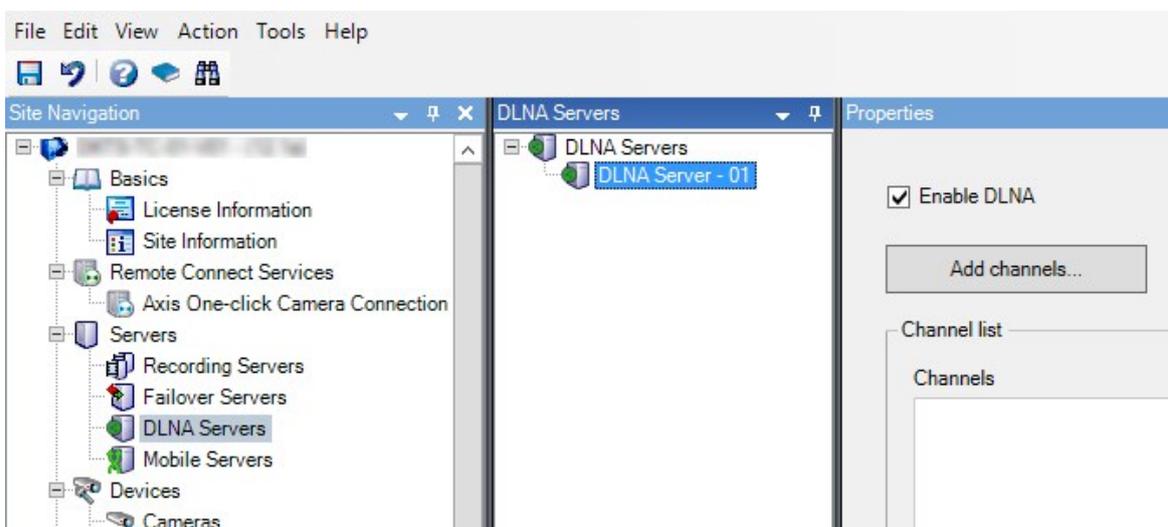
### XProtect DLNA Serverの設定

XProtect DLNA Serverのインストール後、XProtect DLNA Serverサービスが動作すると、通知エリアのDLNA Server Managerトレイアイコンが緑色に変わります。次のステップとして、カメラをXProtect DLNA Serverで有効にします。

#### DLNAサーバーの設定を構成する

DLNAデバイスにXProtect VMSへのアクセスを提供するには、次のステップに従います。

1. Management Clientを開きます。
2. **サーバー**を展開し、**DLNAサーバー**を選択します。それから、追加したばかりのDLNAサーバーを選択します。



3. サーバーの名前を変更するには、DLNAサーバーを右クリックし、**名前の変更**を選択します。入力する名前は、メディアが使用可能なコンテンツをスキャンするときにDLNAデバイスが検出する名前です。
4. [プロパティ] タブでは、[DLNAを有効にする] のチェックボックスがデフォルトで選択されています。DLNAを無効にしたい場合は、チェックボックスを外します。

#### チャンネルの追加

DLNAデバイスは、お使いのXProtectシステムで決められているチャンネルを見つけます。カメラに割り当てられるDLNAチャンネルには異なるタイプのものがあります。

- 単一カメラ：チャンネルごとにカメラ1つ
- 画面自動切替：チャンネルごとに複数のカメラ。チャンネルは、定義されたタイムインターバルで、選択されたカメラをスイッチします。

- ルールベース：チャンネルごとにひとつ、あるいは複数のカメラ。イベントに基づき、カメラはルールで定められたチャンネルに対して設定、または除去されます。



ルールで定められたチャンネルを追加するには、イベントサーバーがインストールされているものと同じマシンに DLNA サーバーをインストールする必要があります。インストールが完了した後、イベントサーバーを再起動する必要があります。



チャンネルの作成後は、**ルール**で新しいルールを作成し、このチャンネルにカメラが表示されるようにする必要があります。

DLNAデバイスで使用可能なカメラを選択するには、次の手順に従ってください：

1. **チャンネルの追加**ボタンをクリックします。
2. チャンネルタイプを選択します。
3. サーバーをカメラグループをクリックして、拡張します。それから、必要なカメラを選択します。

画面自動切替チャンネルで、各カメラの継続時間および順番を調節するには：

1. カメラを選択し、時間を調節します。
2. リストの一番上にある矢印を使用し、画面自動切り替えの順番を変更します。

カメラの割り当ての継続時間を、ルールで定められたチャンネルに設定するには：

1. **後でカメラをチャンネルから除去する**チェックボックスを選択します。
2. 時間を設定します。

加えられたチャンネルのタイプが**チャンネルリスト**に表示されます。

## XProtect DLNA Serverの管理

XProtect DLNA Serverの構成後、様々な方法でサービスの監視と構成設定の変更ができます。

### XProtect DLNA Serverサービスのステータス

XProtect DLNA Serverサービスのステータスを見るには、以下のステップに従います。

XProtect DLNA Serverがインストールされているコンピュータで、通知領域を見ます。XProtect DLNA Server Managerアイコンは、以下の色でXProtect DLNA Serverサービスのステータスを表示します。



- 緑：実行中
- 黄色：開始中、あるいは停止中
- 赤色：停止

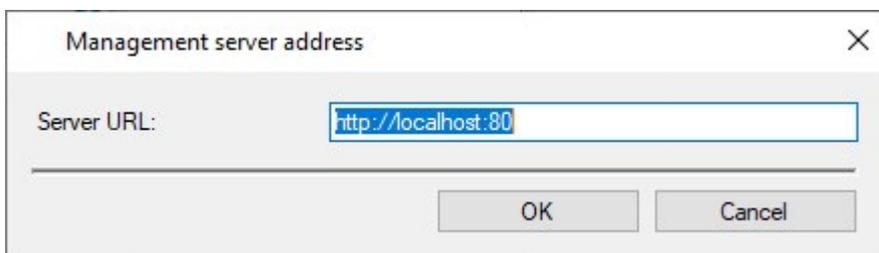
停止した場合は、アイコンを右クリックし、**開始XProtect DLNA Server**を選択します。

マネジメントサーバーのIPアドレスまたはポート番号を変更した場合、XProtect DLNA Serverでこの情報を更新する必要があります。XProtect DLNA Serverのポート番号も変更できます。

## マネジメントサーバーのアドレスの変更

マネジメントサーバーのアドレスを変更するには、以下の手順に従ってください。

1. XProtect DLNA Serverサービスがインストールされているコンピュータで、XProtect DLNA Server Managerトレイアイコンを右クリックし、**マネジメントサーバーのアドレス**を選択します。



2. 新しい情報を指定してから、**OK**をクリックします。



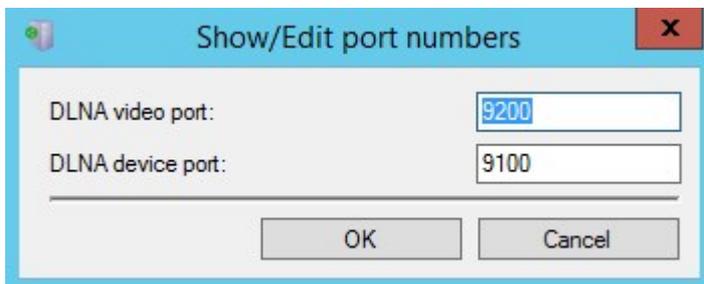
マネジメントサーバーがインストールされているサーバーのドメイン名またはIPアドレスを使用する必要があります。

XProtect DLNA Serverサービスが再開し、トレイアイコンが緑色になります。

## ポート番号の編集

XProtect DLNA Serverのポート番号を変更するには、以下のステップに従います。

1. XProtect DLNA Serverサービスがインストールされているコンピュータで、XProtect DLNA Server Managerトレイアイコンを右クリックし、**ポート番号の表示/編集**を選択します。



2. 新しい情報を特定してから、**OK**をクリックして下さい。

XProtect DLNA Serverサービスが再開し、トレイアイコンが緑色になります。

## 操作

### DLNA認証デバイスを使用してビデオストリームを見る

パブリックディスプレイまたはTVでXProtectシステムからライブビデオの視聴をスタートするには、次のステップに従ってください。

1. デバイスがDLNA認証され、XProtect DLNA Serverでネットワークに接続されていることを確認します。
2. XProtect DLNA Server発見されたら、ネットワークをスキャンし、接続します。  
さまざまなチャンネルのリストが表示されます。
3. ビデオを見たいチャンネルに接続してください。
4. 選択したチャンネルにビデオが表示されていることを確認します。



[helpfeedback@milestone.dk](mailto:helpfeedback@milestone.dk)

#### Milestoneについて

Milestone Systemsはオープンプラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。は、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestone Systemsのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成します。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

